



非武装中立で平和の実現を



物価高による生活不安は増すばかりです。食品の値上げは止まず、主食である米も、総務省発表の3月の小売物価統計（東京都都区部）で、コシヒカリ（5kg）の価格が、4679円となり、昨年5月から11カ月連続の上昇で、前年同月を2209円（89%）上回りました。政府は備蓄米を放出しているといいますが、その効果はあらわれていると思えない状況です。スーパーに行くとき主食のコメだけでなく食品の値上げが続き、家計を圧迫し続けています。

日本は世界に誇る平和憲法を持っているのです。戦後80年、日本が戦地になることはありませんでしたが、戦争できる国づくりが進められています。今年の防衛関係予算（軍事費）は8・7兆円です。国民一人当たり年7万円の負担、4人家族では28万円です。税金が戦争準備

のために使われようとしているのです。アメリカの兵器爆買い、軍事基地の増加や、訓練・演習の強化など戦争のための準備が進んでいるのです。戦争は人の命を奪い都市を破壊し、大変な惨状を引き起こします。私たちの生活を豊かにするための教育や医療、福祉のために使いたいものです。

戦争する国づくりではなく、戦争に巻き込まれないように非武装中立をはっきり主張し、憲法を暮らしに生かしたいものです。

7月に参議院議員選挙が予定されています。非武装中立の考えを広げ実現を目指す、平和の方向へ流れを変えたいものです。

労働大学企画編集委員 荒畑 正子